



宮城県気仙沼市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2024

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- **地方都市に興味のある学生におすすめ。**スローシティという視点から地域を実態的に学びます。
- **社会課題や地域資源等を捉え、持続可能な地域社会の実現に向けた取組について考え、プレゼンテーションを行います。**
- **副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。**

テーマ

持続可能なスローシティ気仙沼の取組を考える

気仙沼市では、自然との共生、再生可能エネルギー、スローフード、地域経済循環、弱者への福祉など、現在ではSDGsに包含される多くのテーマについて官民協働で、またそれぞれに各種取組を行い、成果を上げてきました。一方、地球温暖化や資源・エネルギー不足等の社会経済情勢に加え、人口減少など私達を取り巻く環境は大きく変化しています。

国内で初めてスローシティに認証された気仙沼市では、将来にわたり持続可能な地域社会を実現するため、「気仙沼市持続可能な社会推進市民会議（通称サステナ市民会議）」を立ち上げ、市民約100名が「自然との共生」、「地域経済・暮らし」、「人間の安全保障」の3つの分科会に分かれ、ありがたい気仙沼の姿の実現に向け、市民全体で取るべき行動・起こすべき活動のアイデアを出し合い、実践につなげることをしています。社会課題や地域資源等を捉え、地方都市におけるスローで持続可能な社会に向けた取組を考える貴重な機会です。気仙沼の未来をともに考える活動に、ぜひご参加ください。

気仙沼市の魅力

豊かな海と山に抱かれた気仙沼市。このまちには、先人たちから受け継がれたスピリットがあります。リアスの海と緑豊かな山や川の恵みを楽しんでいること。命の源である自然を大切に守ること。地域ならではの食文化と生活を育むこと。新しいものを受け入れ、多様性を尊重すること。自然を敬い、ともに生きること。これらのスピリットをまちの「誇り」として次代に伝え、ひとりひとりが心豊かに、自然と共生する。そんなまちの姿にふれ、気仙沼が見つめる未来を感じてみませんか。



募集概要

| | |
|-------|--|
| 募集期間 | 2024年10月7日(月)～10月20日(日) 23:59 [期間厳守] |
| 募集対象 | 早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程) (学部、専攻、学年問わず) |
| 応募条件 | ①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。 |
| 募集人数 | 8名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。 |
| 実施の流れ | ① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加 ③ 終了後にレポート提出 |
| 応募方法 | ① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2024春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2024春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項(志望理由など)を入力して申請 |
| 選考方法 | 書類選考: 結果通知は 2024年11月11日(月)までにWasedaメール にて通知します。 ※面接選考(オンライン)を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。 |
| 注意事項 | ① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。※卒業単位には算入されません ② 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を実施し、それぞれ課題を提出してもらいます。授業の日程については、対象者にご連絡します。また、現地実習終了後に提出レポートがあります。 ③ 2025年3月17日から20日の現地実習は、 現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担 です。 <交通費目安> 東京駅～気仙沼駅 片道 14,360円(東北新幹線+大船渡線) ④ 参加者が現地で負担する費用は、<u>宿泊費(3泊朝食付)で計24,000円のほか、昼・夕食費実費とBRT乗車(下記・240円)</u>です。 <宿泊場所> 気仙沼プラザホテル 〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1番地1 ⑤ 現地での移動は、気仙沼市からご支援をいただきます。なお、BRT乗車区間(240円)は実費です。 ⑥ 現地では、本学教員と気仙沼市職員が引率します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 最終日の成果発表会(気仙沼市役所)で、各自成果をプレゼンテーションしてもらいます。 ⑨ 早稲田大学の学生補償制度(損害補償・賠償責任補償)に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑩ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑪ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑫ 【重要】当スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑬ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑭ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ⑮ プレゼンテーションは、気仙沼市の現状や取組、サステナ市民会議の方向性などを踏まえて、大学、大学生、市、市民が協働してのようなことができるのか、またすべきなのか、ビジネス手法による課題解決のアイデアを発表していただきます。 |
| 問合せ先 | グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹 (motokato@waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。 |

現地実習のスケジュール（予定）

| | | |
|-------------------|----------------|-------------------------------|
| 3月17日（月） 【1日目】 | 12：00 | 気仙沼駅集合 |
| | 13：15 | 気仙沼市の取組（サステナ市民会議）について |
| | 14：45 | 森は海の恋人の取組 |
| 3月18日（火） 【2日目】 | 9：00～ 17：00 | 地方の現状を知る（外国人との共生、女性や高齢者の活躍など） |
| 3月19日（水） 【3日目】 | 9：00～ 12：00 | 気仙沼地域エネルギー開発の取組、スローフードの取組 |
| | 午後・夜 | プレゼンテーション作成 |
| 3月20日（木） 【4日目】 | 9：00～ 10：45 | 成果報告・意見交換会 （プレゼンテーションと講評） |
| | 11：00 | 海の市（土産購入など） |

※天候や先方のご都合によって、変更が生じる場合があります

※プレゼンテーションは、気仙沼市の現状や取組、サステナ市民会議の方向性などを踏まえて、大学、大学生、市、市民が協働してのようになれるのか、またすべきなのか、ビジネス手法による課題解決のアイデアを発表していただきます。

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。

※プログラム終了のスケジュールの関係で2025年3月卒業予定の方は認定が間に合いませんのでご注意ください。なお、卒業単位には算入されません。